

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	令和4年度市営板付住宅新築工事	階数	地上8F
建設地	福岡県福岡市博多区板付3丁目10,11	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、第2種20M高度地区	平均居住人員	228 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2021年4月23日
敷地面積	4,584 m ²	作成者	緒方 麻友
建築面積	603 m ²	確認日	
延床面積	3,596 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.1

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項	
総合 周囲の景観に配慮した、色彩とし、敷地内の緑化を計画した。	その他
Q1 室内環境 建築基準を満たし、かつ市営対象外となる建材をほぼ使用している。	Q2 サービス性能 居室の天井高2.5m以上を確保することにより、ゆとりのある居住空間を計画している。また、給水・給湯の配管はさや管ヘッダーシステムの採用により、躯体や仕上げを痛めることなく更新ができる。
LR1 エネルギー ガス給湯器に高効率型を採用することにより、建物による熱負荷を軽減している。また、各台所水栓は節湯器具を使用し、照明は白熱灯を使用しないことにより、設備の省エネ化を図っている。	LR2 資源・マテリアル 水資源保護を考慮し、超節水型大便器を採用している。
	Q3 室外環境(敷地内) 周辺の環境に溶け込みやすいデザインとしている。
	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出量を考慮し、地球温暖化への配慮がなされている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される